

<中総体報告会にて>

今、各部の報告を聞いて精一杯試合に臨んだ皆さんの様子が伝わってきました。どの部も報告の中に支えてくれた人たちに対して感謝の気持ちが表れていたことはすばらしいと思います。そして県大会出場を果たした3名の皆さんおめでとうございます。

私は剣道の部会長として3日間県武道館にいました。剣道では「剣道を学ぶことよりも剣道で学ぶ」ことを重視しています。剣道には野球やサッカーのようなプロ制度はありません。剣道を職業にして生活していくことは難しい状況です。でも剣道を通して学ぶものはたくさんあります。他のスポーツでも同じことが言えるかと思います。まずは、相手から何を学ぶことができたか。剣道の教えに「打って反省、打たれて感謝」という言葉があります。剣道では勝者がガッツポーズをすることは反則とされています。勝敗以上に相手から学ぶ姿勢を大切にしているからです。相手から何を学べるか、たとえば三つの気について相手の様子はどうだったでしょう。元気の面、大きな声は出ていましたか。勇気の面、挑戦する姿勢はどうだったでしょう。根気の面、最後まであきらめない粘り強さはどうだったでしょう。そして、仲間を支えるチーム力はどうだったでしょう。チームは一人一人の力を伸ばすこともできるし、足を引っ張ることもできます。中総体ではそれぞれの学校のチームカラーを感じたと思います。そこにはこれからの学校生活に生かせるヒントがあったはずです。

壮行式の時に不在だったので生徒会のSさんにWOPPの法則の話をしてもらいました。目標を立ててそれに向かって頑張るにはその方法が大事です。ただ頑張ってもなかなか成果は出ません。具体的な成果に結びつけるため障害となっていることを一つ一つクリアしていく分析力と計画力が大切です。

中国の思想家に荘子という人がいます。この人の言葉に「人は皆、有用の用を知るも、無用の用を知らず」というものがあります。意味は、有用の用とは人はとかく目先の成功や利益だけにとらわれしまうこと。そして、無用の用とは、一見役に立たないと思えるものでも必ず役に立つということ。失敗したとか無駄にしたとか後悔する前に、そのことの意味を考えることが大切。そこには必ず次につながるものが隠されている。ということです。

他人と比較するのではなく、見るべきは、自分自身です。自分の人生は、過去も未来も、自分だけのものです。他人と比較しよるこんだりSNSで「いいね」をもらったりしても意味がありません。本当に大切にすべきなのは、自分が納得して生きるということです。今回の中総体の経験も自分の人生に生かしてください。

10日後には中間テストがあります。1年生にとっては初めての定期テストになります。小学校と違い、自分の将来に直結する大事なテストです。今話したようにいかに勉強に向き合うか。どう努力をするかが大事です。今年は家庭学習ノートを工夫しました。ただ勉強をすればいいのではなく、勉強した成果を振り返って少しずつ改善していけるような工夫をしました。自分自身を客観的に見る目を持つことを「メタ認知」といいます。毎日1ページずつその日勉強したことを振り返ることでノートの内容が少しずつ変わってきている人達が出てきました。WOPPの法則を実践している人達です。その人達は間違いなくこれから成績が伸びます。成績を伸ばすためには、普段の授業や提出物も大事にしてください。先生方は皆さんのそうした頑張りをプラスとして記録を積み上げています。今、

日々学習していることは皆さんが社会に出てからのいろいろな場面で勝負していく武器になります。皆さんのこれからの頑張りに期待し挨拶とします。